

令和3年度 施設の自己評価

保護者アンケートをもとに施設の評価を行った。今年度はコロナ2年目ということもあり、行事などは人数を制限したり、分散型にしたりして工夫をして行った。また、コロナの影響で緊急事態宣言中に保育を行ったり、園関係者に新型コロナウイルス陽性者が判明したことで休園になったりと、落ち着かない一年でもあった。

このような中でも、保護者の皆様からは園に対して概ね高い評価を受けていることは、職員にとっても励みとなる結果であった。

今後も子どもを中心に、職員間、保護者と職員間、保護者同士、園と地域間等々、色々なネットワークを深めて、質の高い保育を目指していきたいです。

【室内環境や玩具について】

子どもの発達に合わせ、子どもが主体的に動けるように玩具や教室環境を考えて取り入れてきた。しかし、アンケートから保護者への発信が不足しているように感じる。令和4年より毎日の子どもの様子をコドモンアプリを活用することで、お子さんの画像を添付したり、動画配信したりしていく。クラスだよりは活動や教室環境、玩具の教育的な意味づけをした内容にした発信をしていきたい。また、ドキュメンテーションも取り入れ、文章だけで終わらないように視覚的にも楽しんでもらえる工夫をしていく。

【ICT化について】

コドモンアプリを導入したが、時々不具合が生じる。できるだけ、人為的なミスはなくし、簡潔に活用できるようにしていきたい。

【保育参観について】

日頃の園生活での様子をじっくり見てもらおうと、令和4年は1日1人限定で保育参観をすることとした。参観後は、担任と面談を行い、園でのこどもの様子や家庭での様子を情報交換する。コロナ禍、保護者との関係が希薄になりつつあるので、参観の機会を大切にしたいと考えている。

【地域交流】

地域の方の好意で、いちご狩りをさせていただいたり、田植え前の田んぼで泥遊びをさせてもらったり、いただいた稲でしめ縄づくりをしたり等々、散歩道で見つける地域の自然を活用し、地域の自然を満喫した保育活動を行うことができた。また、地域の方と交流する機会が増えた。今後も、地域の方との交流を大切にし、こどもの教育活動を充実したものにしていきたい。

麻華こども園 園長 中原美華